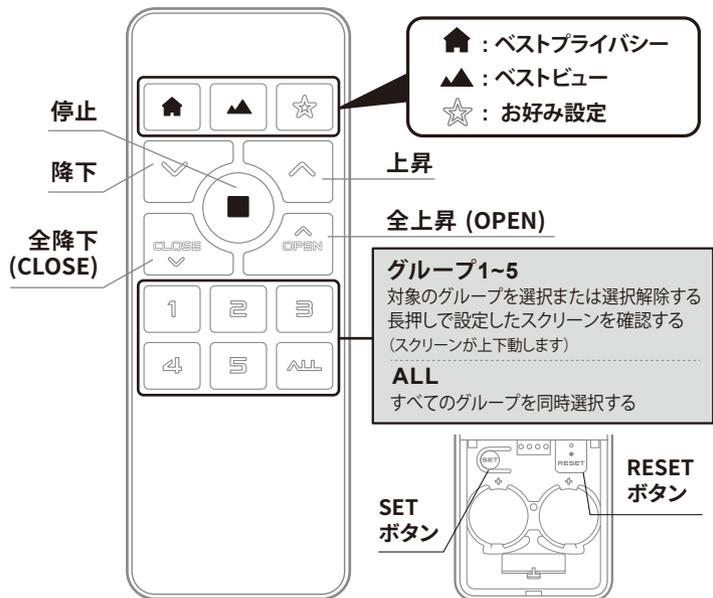


ボタン説明



製品仕様



- 製品型番: RC-A01
- 外形寸法:
長さ135mm x
幅50mm x
高9.5mm
- 重量(電池を含む):
62g ± 5g
- 電池種類:
CR2032 3V
(一次電池) × 2個使用
- 無線電波タイプ:
2.4GHz
- 使用環境温度:
0°C ~ 50°C

リモコンホルダー

※各状況に合わせてお選びください。

ビス固定の場合:

(木下地適用)

- 設置箇所の穴をあわせませす。
先にキリで穴をあけ、ビスを当てやすくします。
- 付属のビスをしめませす。
- ホルダーが固定されたら完成です。



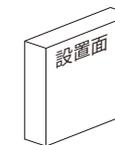
ホルダーの穴に合わせて、
ビスをしめませす。

※石膏ボードは別途アンカーをご用意ください

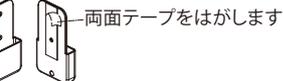
両面テープ固定の場合:

(滑らかな平面に適しています)

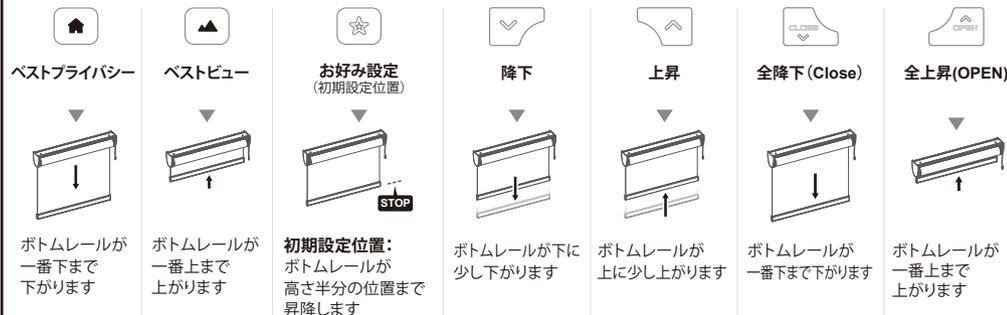
- 設置箇所をきれいにしませす。
- 背面のテープをはがしませす。
- ホルダーをしっかり押し当てて貼り付けませす。
- ホルダーが固定されたら完成です。



ホルダー背面のテープをはずし、
貼り付けませす。



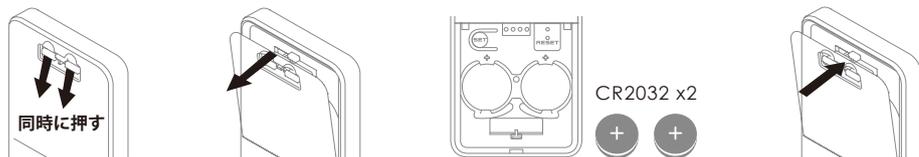
ボタン機能紹介



電池のセット

リモコンはボタン電池CR2032を2個使用します
出荷時に電池が2個付属されています。初回お使いになる際は絶縁シートを取り外してご使用ください。

※リモコンを下図のように逆さにすると電池のセットが行いやすくなります



- 1 指で同時に電池カバーを下方向に押しませす
- 2 電池カバーを開きます
- 3 電池のプラス (+) 側を上向きに、斜めに入れこんでください
- 4 電池カバーを戻します

▲ 危険 電池を乳幼児の手の届くところに置かない。誤って飲み込んだ場合は死に至ることがあり、直ちに医師に診察を受ける。



停止

昇降を停止します



グループ1~5

操作したいグループを選択します
長押し: グループ設定されたスクリーンが
上下に動きお知らせします

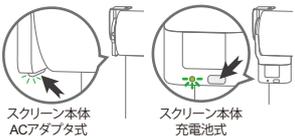


ALL

すべてのグループを
同時選択する

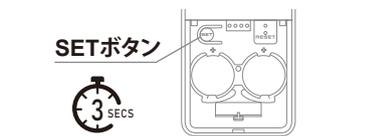
リモコンとスクリーンをペアリングする ※工場出荷時にご購入時指定のグループ登録、上下停止位置は設定済みです

▲ 重要!同じグループは同製品タイプのスクリーンを設定してください。



1 スクリーンのスイッチを3回押します

スクリーンのランプがゆっくりと緑色に点滅し、設定モードに入ります



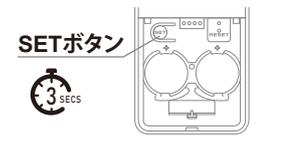
2 リモコン背面の電池カバー内にある[SET]ボタンを3秒長押しします

リモコンのグループボタンが点滅し、設定モードに入ります



3 設定したいグループを選択します

選択された数字が点滅します

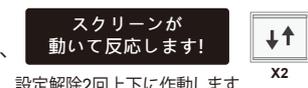


4 リモコンの[SET]ボタンを3秒長押しし、設定モードを終了します

点滅が終了し、設定モード終了
① 設定モードで20秒間操作が無い場合も自動で終了します

リモコンとスクリーンのペアリングを解除する

解除の手順は設定の手順と同じです。すでに設定されているグループを選択し、手順通り操作を行うと解除されます。

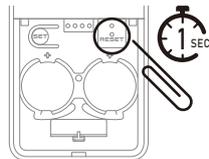


グループ設定を変更する

上記の設定解除をまず行ってください。上記の設定の手順に従い、改めて設定したいグループを選択してください。

リモコン設定のコピー コピー元リモコンの設定内容をコピー先に移します

コピー先リモコン

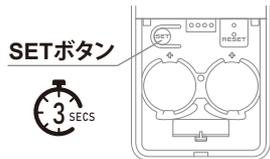


- 1 [RESET] ボタンを1秒長押し、グループボタンが素早く点滅します
- 2 [RESET] ボタンを3回早押し、更に早く点滅します

コピー先リモコン

グループボタンが1秒点灯し、通常モードに自動で戻ります

コピー元リモコン

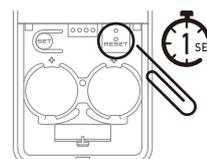


- 1 [SET] ボタンを3秒長押し、グループボタンがゆっくりと点滅します
- 2 [SET] ボタンを3回早押し、グループボタンが4回点滅します

コピー元リモコン

[SET] ボタンを3秒長押し、グループボタンの点滅が終了 設定モードが終了します

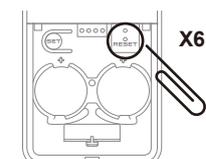
リモコンをコピー設定前に戻す 設定コピーを行ったリモコンをコピー設定前に戻します



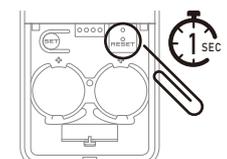
- 1 先の細いピンなどでリモコン背面にある[RESET]ボタンを1秒長押しします



- 2 グループボタンが点滅します リセットモードになります



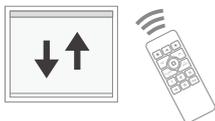
- 3 [RESET] ボタンを6回連続して押します グループボタンが4回素早く点滅します



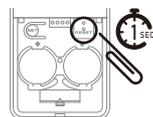
- 4 [RESET] ボタンを1秒長押し、リセットモードを終了します

停止位置の上限・下限を設定/解除

ステップ1. スクリーンを任意の停止位置に調整します



ステップ2. リモコン背面 [RESET] ボタンを1秒長押し
グループボタンが素早く点滅、リセットモードになります



ステップ3. 設定を行いたいグループを選択します
選択された数字が点滅します



ステップ4. 上限位置の 設定: 1回押す [OPEN]



設定完了 1回上下に作動します

上限位置の 解除: 1秒長押し [OPEN]



設定完了 2回上下に作動します

下限位置の 設定: 1回押す [CLOSE]



設定完了 1回上下に作動します

下限位置の 解除: 1秒長押し [CLOSE]



設定完了 2回上下に作動します

『☆』お好み位置の設定:ステップ1まで同様に行い、ステップ2は裏面の『SET』を3秒長押し、その後ステップ3の通り進みます。ステップ4では設定の際に『☆』を短押し、解除の際には『☆』を1秒長押しします。スクリーンは設定完了時は1回上下に作動、解除完了時は2回上下に作動します。

- ▲ 注意!
- ※1. 一回に一台ずつ停止位置の設定/解除操作を行ってください。
 - ※2. 同一グループで操作した場合、他のシェードの停止位置が影響を受ける恐れがあります。他のシェードの電源を切ってから停止位置の設定を行ってください。
 - ※3. 設定を解除した状態で操作した場合は、正常な動きにはなりませんのでご注意ください。モーターが逆回転となるため、OPENを押すと、シェードが降ります。CLOSEを押すと、シェードが上がります、ストップボタンを押さない限り上がりきってもずっと回転状態となり、故障の原因となります。

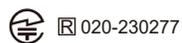
NORMAN® SmartDial™ G2 リモコン基本設定

SHUTTERS. BLINDS. SHADES.

リモコンを使用する前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

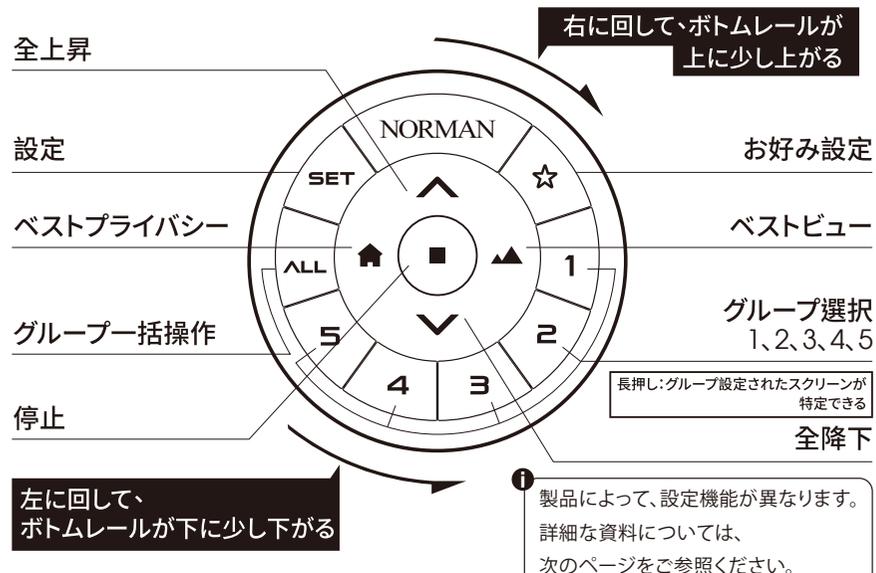
65101-40204-A N301552-1 240708

リモコン仕様



1. 型番: DIAL01
2. 外形寸法: 直径 67.6mm × 高さ 21.2mm
3. 重さ(電池込み): 74.5g ± 20g
4. 電池種類: CR2032 3V (一次電池) × 2
5. 無線電波タイプ: 独自規格RF (proprietary) 2.4GHz
6. 動作環境温度: 0°C ~ 50°C

リモコンダイヤル機能

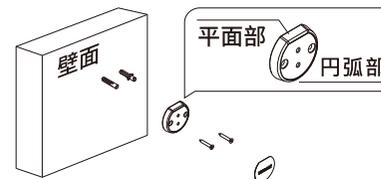


壁面に設置

ビス(木ネジ)固定、または両面テープでの固定が可能です。設置環境にあった方法をお選びください。

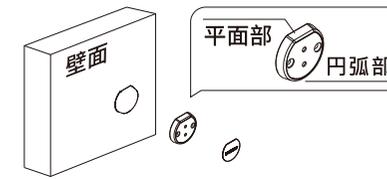
▲ビス固定:

1. ビスを打ち込む2か所に穴を空け、まずアンカーを装着します。
2. マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、ホルダー内側に貼付固定します。
3. ホルダーを、ビスでアンカー部分に固定します。
4. 仕上げに、NORMAN® ロゴシールを貼り、設置完了です。
5. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、磁力で吸着固定されます。



▲両面テープ固定:

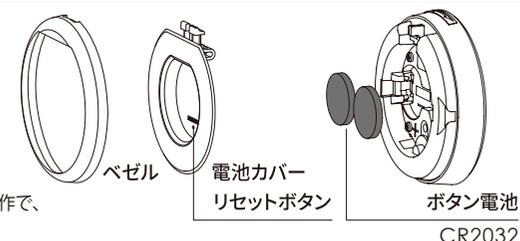
1. マグネットに貼付されているシール剥離紙をとり、ホルダー内側に貼付固定します。
2. ホルダー用両面テープをとり、ホルダー裏面に貼り付けてください。
3. NORMAN® ロゴシールをホルダー表面に貼り、ホルダーを裏面の両面テープ剥離紙を取り、お好みの壁面に貼り付けて設置完了です。
4. SmartDial™ G2裏面の窪みにホルダーが重なり、磁力で吸着固定されます。



電池の設置

このリモコンは、2つのCR2032ボタン電池を使用しています。使用する前に、説明書に従ってボタン電池を設置してください。

1. ベゼルを外します。
2. 電池カバーを外します。
3. 「CR2032電池」を2つ装着します。電池の表裏(+/-)方向にご注意ください。
4. バッテリー装着後、電池カバーを戻します。
5. ベゼルを戻します。
6. SmartDial™ G2を『動かす』、『ボタンを押す』などの操作で、電池装着に問題がなければボタンが点灯します。



電池を乳幼児の手の届くところに置かない。

誤って飲み込んだ場合は死に至ることがあり、直ちに医師に診察を受ける。



リモコン操作方法

- 1 操作したいグループボタンを押すと選択されたグループボタンが光ります。点灯中の連携製品を操作できます。(グループボタン複数選択可)
- 2 【ALL】ボタンを押すと、【ALL】ボタンが光ります。設定された全グループの一括操作が可能となります。
- 3 リモコンダイヤル機能割り当て表をご参照ください。

お好み設定

QR Codeをスキャンしてください



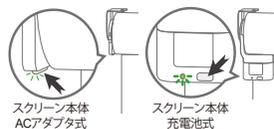
ボタン機能紹介

ボタン機能	紹介
ベストプライバシー (全閉状態)	ボトムレールが一番下まで下がります
ベストビュー (全開状態)	ボトムレールが一番上まで上がります
お好み設定 (初期設定位置)	初期設定位置：ボトムレールが高さ半分の位置まで昇降します
降下	ボトムレールが下に少し下がります
上昇	ボトムレールが上に少し上がります
全降下 (Close)	ボトムレールが一番下まで下がります
全上昇 (OPEN)	ボトムレールが一番上まで上がります

リモコンとスクリーンをペアリングする

※工場出荷時にご購入時指定のグループ登録、上下停止位置は設定済みです

▲重要! 同じグループは同製品タイプのスクリーンを設定してください。



1 スクリーンのスイッチを3回押します

スクリーンのランプがゆっくりと緑色に点滅し、設定モードに入ります

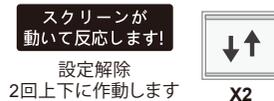


3 設定したいグループを選択します

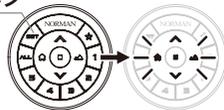
選択された数字が点滅します

リモコンとスクリーンのペアリングを解除する

解除の手順は設定の手順と同じです。すでに設定されているグループを選択し、手順通り操作を行うと解除されます。



SET ボタン



2 [SET] ボタンを3秒長押しします

リモコンのダイヤル中央ボタンが点滅し、設定モードに入ります

SET ボタン



4 リモコンの [SET] ボタンを3秒長押しし、設定モードを終了します

点滅が終了し、設定モード終了

① 設定モードで20秒間操作が無い場合も自動で終了します

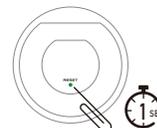
グループ設定を変更する

左記の設定解除をまず行ってください。上記の設定の手順に従い、改めて設定したいグループを選択してください。

リモコン設定のコピー

コピー元リモコンの設定内容をコピー先に移します

コピー先リモコン

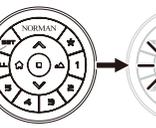


- 1 [RESET] ボタンを1秒長押し、ダイヤル中央ボタンが素早く点滅します
- 2 [RESET] ボタンを3回早押し、更に早く点滅します

コピー先リモコン

ダイヤル中央ボタンが1秒点灯し、通常モードに自動で戻ります

コピー元リモコン



SET ボタン



- 1 [SET] ボタンを3秒長押し、ダイヤル中央ボタンがゆっくりと点滅します
- 2 [SET] ボタンを3回早押し、ダイヤル中央ボタンが4回点滅します

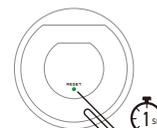
コピー完了

コピー元リモコン

[SET] ボタンを3秒長押し、ダイヤル中央ボタンの点滅が終了設定モードが終了します

リモコンをコピー設定前に戻す

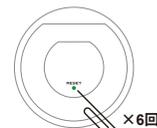
設定コピーを行ったリモコンをコピー設定前に戻します



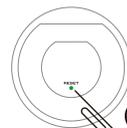
- 1 先の細いピンなどでリモコン背面にある [RESET] ボタンを1秒長押しします



- 2 ダイヤル中央ボタンが点滅しますリセットモードになります



- 3 [RESET] ボタンを6回連続して押しますダイヤル中央ボタンが4回素早く点滅します

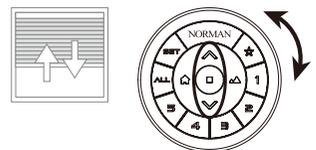


- 4 [RESET] ボタンを1秒長押し、リセットモードを終了します

停止位置の上限・下限を設定/解除

ステップ1.

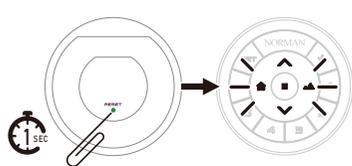
スクリーンを任意の停止位置に調整します



ステップ2.

リモコン背面 [RESET] ボタンを1秒長押し

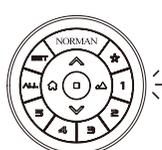
ダイヤル中央ボタンが素早く点滅、リセットモードになります



ステップ3.

設定を行いたいグループを選択します

選択された数字が点滅します



行いたい設定/解除内容に従ってください

ステップ4.

上限位置の設定:

1回押す



下限位置の設定:

1回押す

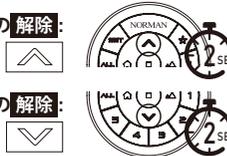


設定完了
1回上下に作動します



上限位置の解除:

2秒長押し



下限位置の解除:

2秒長押し



解除完了
2回上下に作動します



※1. 一回に一箇所ずつ停止位置の設定/解除操作を行ってください。

▲注意! ※2. 同一グループで操作した場合、他のシェードの停止位置に影響を受ける恐れがあります。他のシェードの電源を切ってから停止位置の設定を行ってください。

※3. 設定を解除した状態で操作した場合、正常な動きにはなりませんのでご注意ください。モーターが逆回転となるため、OPENを押すと、シェードが降ります。CLOSEを押すと、シェードが上がります。ストップボタンを押さない限り上がりきってもずっと回転状態となり、故障の原因となります。

Power Rod User Manual
パワーロッドユーザーマニュアル



reddot winner 2020

各部の名称とはたらき

充電ヘッド
スクリーンの充電差し込み口に挿入し、本体を充電します。

ほこりよけカバー
充電ヘッドをほこりや汚れから守ります。スクリーン本体へ給電する際は取り外してください。

スクリーン本体充電残量表示
スクリーン本体の残電量と充電状況を表示します
※ 詳しくは【インジケータ表示の説明】をご参照ください

保護キャップ
底部分を保護するカバー。キャップにも穴があるため、保護キャップを付けたままパワーロッドの充電が可能ですので、取り外さないでください。

パワーロッド充電残量表示
充電池内蔵式

※ ACアダプタ式はパワーロッド残量表示がございません

充電池内蔵式とACアダプタ式のパワーロッドはデザインが似ていますが、以下の点で異なります。

- **充電池内蔵式:**
パワーロッドを充電すれば、パワーロッド単独でスクリーン本体に給電できます。また、パワーロッド充電残量の表示がロッド上にあります。
- **ACアダプタ式:**
パワーロッドに充電池が内蔵されていません。ACアダプタに接続した状態でスクリーン本体の充電を行います。

36W ACアダプタ

インジケータ表示の説明

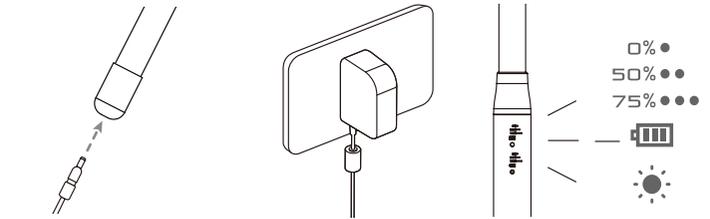
表示	スクリーン本体充電残量表示	パワーロッド充電残量表示
	0% ● 50% ●● 75% ●●● 	0% ● 50% ●● 75% ●●●
バッテリー状態	緑色 50%以下:2秒に1回点滅	緑色に点滅:充電中
	緑色 50%-75%:2秒に2回点滅	緑色に点灯:充電完了
	緑色 75%-90%:2秒に3回点滅	
	緑色 90%以上:点灯状態	
	赤色 異常/接触不良:点灯状態	接触不良・充電ができていない
【裏面:故障かな?と思ったら】をご参照ください		

充電池内蔵式パワーロッドの充電方法

注意

- 本製品付属の36W ACアダプタをご使用ください。誤った使用法は故障等が生じる可能性があります。
- パワーロッドは3~6か月に1度の充電がおすすめです。これにより内蔵電池の性能を良い状態に保つことができます。

- 36W ACアダプタのDC端子部分をパワーロッド底部の充電口に差し込みます。
- 36W ACアダプタをコンセントに差し込みます。
- 充電中はパワーロッド充電残量表示が緑色に点滅し、充電が完了すると、緑色の点灯状態になります。



充電池内蔵式パワーロッドを使ってスクリーン本体を充電する

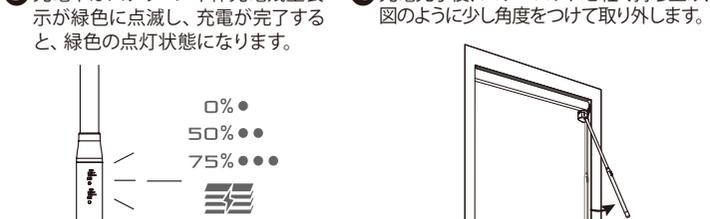
注意

- はじめてお使いになるときは、パワーロッドをフル充電してからご使用ください。
- スクリーン充電時は、パワーロッドを揺らしたり引っ張ったりしないでください。また、スクリーンの操作もお控えください。
- スクリーンは3~6か月に1度の充電がおすすめです。これによりスクリーン内蔵のリチウムイオンバッテリーを良い状態に保つことができます。

- ほこりよけカバーを取り外します。
- スクリーン本体の充電差し込み口に、パワーロッドの充電ヘッドを差し込みます。*



- 充電中はスクリーン本体充電残量表示が緑色に点滅し、充電が完了すると、緑色の点灯状態になります。
- 充電完了後、パワーロッドを軽く持ち上げ、図のように少し角度をつけて取り外します。

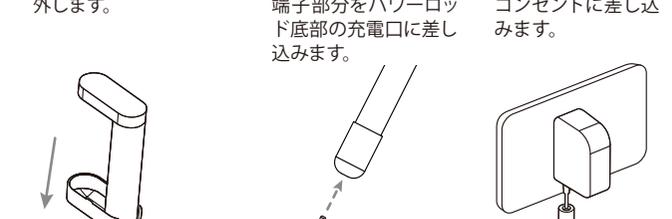


ACアダプタ式パワーロッドを使ってスクリーン本体を充電する

注意

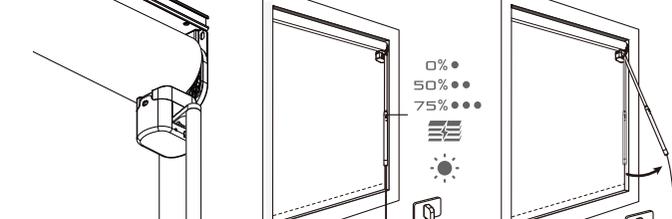
- スクリーン充電時は、パワーロッドを揺らしたり引っ張ったりしないでください。また、スクリーンの操作もお控えください。
- スクリーンは3~6か月に1度の充電がおすすめです。これによりスクリーン内蔵のリチウムイオンバッテリーを良い状態に保つことができます。
- 本製品付属の36W ACアダプタをご使用ください。延長コードを使用する場合、過度に折り曲げた状態、ねじれた状態などを避けてください。誤った使用法は故障等が生じる可能性があります。

- ほこりよけカバーを取り外します。
- 36W ACアダプタのDC端子部分をパワーロッド底部の充電口に差し込みます。
- 36W ACアダプタをコンセントに差し込みます。



スクリーン本体を充電する

- スクリーン本体の充電差し込み口に、パワーロッドの充電ヘッドを差し込みます。*
- 充電中はスクリーン本体充電残量表示が緑色に点滅し、充電が完了すると、緑色の点灯状態になります。
- 充電完了後、パワーロッドを軽く持ち上げ、図のように少し角度をつけて取り外します。



* 充電ヘッドがしっかりと挿入されていることを確認後、手を離してください。差し込みが不十分の場合、落下等によるけが・破損の恐れがあります。

基本仕様

製品名	パワーロッドモデル		36W ACアダプタ
	充電池内蔵式	ACアダプタ式	
製品型番	PB-01S	PB-02	-
バッテリー	リチウムイオンバッテリー (Lithium-ion Battery)	-	-
バッテリー容量	14.4V≒3300mAh(47.52Wh)	-	-
入力	24V≒1.5A(MAX)	-	AC 100-240V
出力	16.4V(MAX)≒3.4A(MAX)	24V≒1.5A(MAX)	24V / 1.5A
パワーロッド充電時間	2時間程度	-	-
スクリーン本体充電時間	2~3時間	-	-
充電/使用環境温度	5℃ - 35℃	-	-
外形寸法(mm)	58 x 28 x 900 mm	-	72.7x35.7x53mm
重量(g)	514g	289g	141 g

故障かな？と思ったら

スクリーン本体を充電

表示	考えられる原因	解決方法
点滅・点灯 しない 0% ● 50% ●● 75% ●●●  ○	接触不良	①本体充電差し込み口に対して水平に差し込まれているか②異物などが干渉していないか確認をし、パワーロッドを差し直してください。
	異常	上記の解決方法で解消されない場合はお問合せください。
赤色に点灯 0% ● 50% ●● 75% ●●●  ☀	接触不良	①本体充電差し込み口に対して水平に差し込まれているか②異物などが干渉していないか確認をし、パワーロッドを差し直してください。
	充電池内蔵式 パワーロッド 充電不足	【充電池内蔵式パワーロッドの充電方法】を参照し、パワーロッドに充電を行ってから、再度給電してください。
	充電/使用環境 温度の範囲外	周囲を適切な温度（5～35℃）の環境下にし、30分以上経過後、再度お試しください。
	異常	上記の各方法で解決できない場合は、お問合せください。

充電池内蔵式パワーロッドを充電

表示	考えられる原因	解決方法
点滅・点灯 しない 0% ● 50% ●● 75% ●●●  ○	コード類がしっかりと差し込まれていない	1. コンセントにしっかりとアダプタが差し込まれているかご確認ください。 2. パワーロッドとACアダプタのDC端子部分がしっかりと差し込まれているかご確認ください。
	充電/使用環境 温度の範囲外	周囲を適切な温度（5～35℃）の環境下にし、30分以上経過後、再度お試しください。
赤色に点灯 0% ● 50% ●● 75% ●●●  ☀	異常	上記各解決方法お試しの上、問題が解決できない場合は、販売店までお問合せください。
	異常	上記の各方法で解決できない場合は、お問合せください。

使用上のご注意

このたびは当社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書は事故を防ぐための重要な注意・説明事項を記載しています。必ず指示に従って使用・操作を行ってください。お読みになった後は、大切に保管してください。

▶ 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
警告 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。
注意 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
危険 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
▶ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。
 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

製品全体

使用時、異臭を感じたりコードが異常な高温になったりした場合は、すぐに使用を中止してください。

注意

-  ▶ **動作環境**
本製品は動作環境が5℃～35℃の範囲内でご使用・充電をしてください。範囲外で使用・充電を行うと、バッテリーからの液漏れ、熱によるバッテリー損壊・性能低下等の恐れがあります。

警告

-  ▶ **付属アクセサリ（パワーロッド、36W ACアダプタ、延長コード）**
 - 付属のアクセサリはNORMAN®電動ロールスクリーンのみ使用し、他の用途では使用しないでください。
 - 付属の36W ACアダプタ（ UHVUU3036-240015SA）をご使用ください。
 - 非純正のアダプタを使用すると、製品損壊や事故につながる恐れがあります。
 - コード類を使用する際、高温、火気、可燃物の近くを避けてください。また延長コードを使用する場合は、束ねたまま使用しないでください。コードが発熱し被膜の変形やショート、火災の原因になります。
 - 延長コードを抜くときは、プラグを持って行ってください。コードを引っ張ると、破損や感電、火災につながる恐れがあります。
 - コードやプラグに破損、ぐらつき、焦げ、硬化、サビ、ホコリなどの汚損が見られる場合、すぐに使用を中止し、交換してください。
 - ACアダプタの定格（入力出力電圧、電流）内で使用してください。発煙、発火など破損の原因になります。
 - 湿気やほこりの多い場所は避けて使用してください。ほこりが付着したまま使用しないでください。発煙、発火の原因になります。
 - タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し火災の原因になります。
 - 出力がない、異音、雑音があるなど異常が認められた場合ただちに使用を中止してください。
 - ACアダプタをコンセントから引き抜く際は、必ずプラグをコンセントから優しく抜いてください。
 - むやみにコードを引っ張ると、コードが傷み火災の原因になることがあります。
 - ACアダプタを使用しない場合は、安全のためプラグをコンセントから抜いてください。

危険

-  ▶ **感電の危険性や損壊の恐れがあります**
 - スクリーン本体やパワーロッドの電源接続端子（金属部分）、ロッド底部の凹み内部（金属部分）に触れること、またはなめたりすること。特に小さい子供やペットなどご注意ください。
 - 濡れた手で本体やACアダプタを操作すること。
 - 液体や火気の付近に近づけること。
 - 本体やACアダプタに水を掛けたりしないでください。

注意

-  ▶ **分解行為**
パワーロッドや付属アクセサリの分解、部品交換、改造などをご自身で行わないでください。故障の場合は速やかに販売店にお問合せください。販売店またはメーカーの指示によらない誤った使用方法は製品保証対象外となることがあり、保証期間内でも保証を受けられません。
-  ▶ **使用者の制限**
本製品は、感覚器に障害のある方、ご自分で意思表示できない方は使用しないでください。

取り付け時の留意事項

注意

-  ▶ **有効寸法**
本体充電差し込み口前方に、パワーロッドの差し抜きのために、少なくとも6cm以上の空間が必要です。
-  ▶ **傾き**
パワーロッドによる充電が問題なくできるよう、スクリーンの左右・前後ともに水平を保った状態で取り付け、3°以上傾きがないことをご確認ください。

スクリーンへの給電時のご注意

注意

-  ▶ **パワーロッド**
充電時は揺らしたり引っ張ったりせず、スクリーンの操作も控えてください。また、スクリーン操作の際は必ずパワーロッドをスクリーンから取り外してから操作を行ってください。
-  ▶ **ほごりよけカバー**
スクリーン本体へ給電時、ほごりよけカバーを取り外して充電してください。
-  ▶ **保護キャップ**
保護キャップは取り外さないでください。キャップにも穴があるため、保護キャップを付けたままパワーロッドの充電が可能です。
-  ▶ **その他**
パワーロッドのインジケータ表示が正常に点滅点灯していることを確認後、パワーロッドから手を離してください。

保管方法

- ・長期間使用しない場合でも、パワーロッドやスクリーン本体の内蔵電池の性能を維持するために、3-6か月に1回はフル充電をしてください。

警告

- ・充電ヘッドにほごりよけカバーを取り付け、汚れや水などが付着しないよう保管してください。
- ・パワーロッド、ACアダプタ、延長コードは直射日光、高温・多湿、火気の近くの場所を避けて保管してください。
- ・パワーロッドやACアダプタ、延長コードは使い方がわからない幼児やペットの手が届かない場所に保管し、遊ばせないようにしてください。

お手入れ

注意

- ・掃除やお手入れの際は、プラグを抜き電源をお切りください。
- ・コンセントや36W ACアダプタの水濡れ等に十分気を付けてください。

充電池内蔵式パワーロッドの安全注意事項

パワーロッドにはリチウムイオンバッテリーが内蔵されており、バッテリーには電解液等の可燃物質が使用されています。誤った取扱方法は火災や発煙、爆発などの恐れがあります。またバッテリーの機能を著しく損う可能性もあります。記載の注意事項を必ずお読みになり、ご使用の際はご注意ください。

危険

パワーロッドを下記のような状況で使用・保管した場合、火災・発煙・発熱・爆発・液漏れにつながる恐れがあります。

-  ・**水没・濡れる** …保護回路が損傷する原因となります。
- ・**高温、火気の近くでの使用・保管** 例：電子レンジや調理器具の近くなど
- ・**高温になる場所（80℃以上）で放置する** 例：直射日光下、車内など
- ・**非純正のアクセサリを使用する** …バッテリーが破裂する原因となります。
- ・**条件（動作環境範囲、電圧、電流）外で使用する** …バッテリーが破裂する原因となります。
- ・**リチウムイオンバッテリーの極性を誤る**
- ・**AC電源コンセントで直接充電する** …必ず専用の充電器を使用してください。
- ・**車のシガーソケットで充電する**
- ・**非対応製品、意図しない機器に給電する**
- ・**金属製品と一緒に保管・移動する**
…リチウムイオンバッテリーのプラス極とマイナス極に金属が触れると、ショートして大きな電流が流れ、発熱、破裂、発火あるいは金属が発熱するなどして危険です。
- ・**強い衝撃を加える**
- ・**釘を打つ、ハンマーで叩く** …バッテリーの破損、内部短絡が発生する原因となります。
- ・**はんだ付けをする** …コンパートメントが溶けたり、ガス放出口などの安全機構が破損する原因となります。
- ・**分解する** …保護回路が損傷する原因となります。
- ・**高温になる場所で充電する**
…バッテリーの保護回路が誤作動し充電ができなくなったり、故障することがあります。

警告

-  ▶ **幼児の手が届かないところで保管する**
パワーロッドは幼児の手が届かないところで保管してください。誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
-  ▶ **他のバッテリーと混ぜて使わない**
異なる種類のバッテリーと混ぜて使うと、容量・性質の違いにより、発熱、発煙、発火の原因となります。
-  ▶ **パワーロッドに異常がある場合は、使用を中止する**
異臭、発熱、変色、変形等異常が見られた場合、すぐに使用をやめてください。バッテリーが破損している可能性があります。
-  ▶ **充電が完了できない場合は、充電を中止する**
充電が目安時間で完了しない場合、充電を中止してください。
-  ▶ **液漏れした場合、電解液に触れない**
液体が目や皮膚に付着した場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明や皮膚の炎症等の原因となります。
-  ▶ **液漏れした場合、火気から遠ざける**
液漏れや異臭が発生した場合、すぐに火気から遠ざけてください。漏れた電解液や気体に引火し、破裂、発火の原因となります。
-  ▶ **運搬の際は、しっかりと梱包する**
バッテリーのショートや損傷を防ぐため、パワーロッドは箱等で梱包し運搬してください。

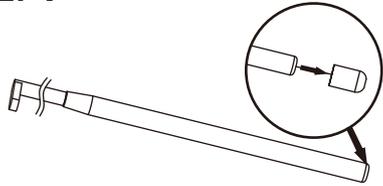
注意

-  ▶ **本製品以外への給電、非対応機器での充電をしない**
バッテリーには保護回路があります。スクリーン以外の機器への給電や意図しない充電機器を使用すると、保護回路が故障する可能性があります。
-  ▶ **充電方法**
ご使用の前に必ず本書をお読みになり、正しい方法で充電を行ってください。
-  ▶ **初回使用時**
初回使用時、異臭・発熱・サビ等が見られた場合、すぐに使用をやめ、販売店へご連絡ください。
-  ▶ **可燃物付近での使用**
可燃物の近くで使用・充電を行わないでください。発火により火災の恐れがあります。
-  ▶ **露出されたリード線や金属端子部の取り扱い**
断線等でリード線や金属端子部分が露出した場合、危険ですので電気絶縁用ビニールテープなどで一時的に絶縁処理を行ってください。感電やショートにより発熱、破裂、発煙、発火の原因となります。
-  ▶ **廃棄方法**
ご不要になった場合、各自自治体の指示に従って処分してください。

延長ロッドの装着は下記STEPで行ってください

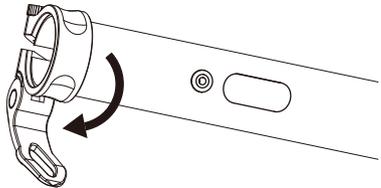
パワーロッド充電電池内蔵式モデル

STEP1



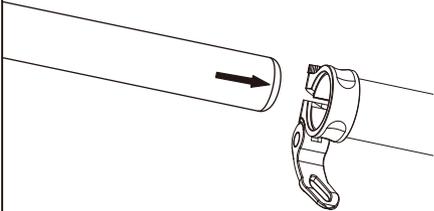
パワーロッドの保護キャップを外してください。

STEP2



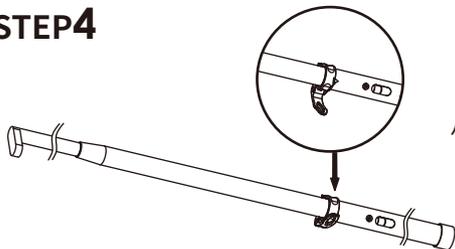
固定グリップを開きます。

STEP3



固定グリップを開き、
パワーロッドを差し込みます。

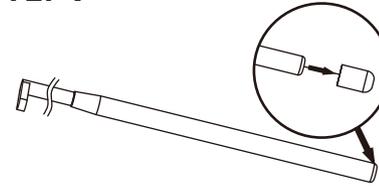
STEP4



パワーロッドをグリップで固定します。

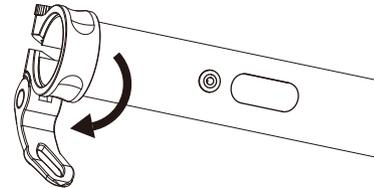
パワーロッドACアダプタ式モデル

STEP1



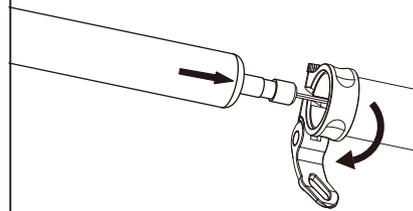
パワーロッドの保護キャップを外してください。

STEP2



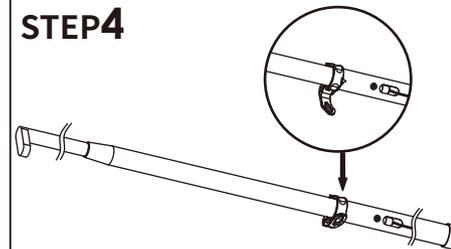
固定グリップを開きます。

STEP3



コードを延長ロッドに通したのち、
パワーロッドを差し込みます。

STEP4



パワーロッドをグリップで固定します。